

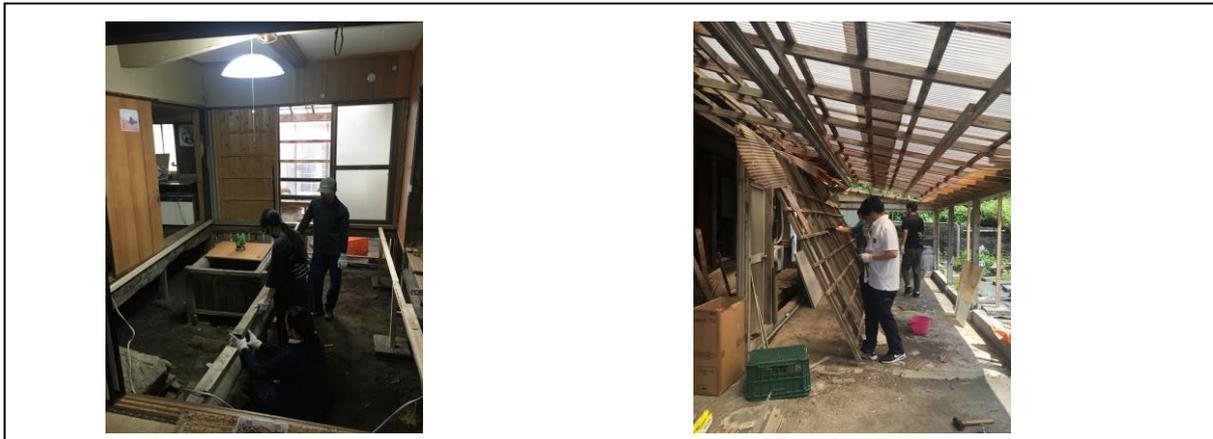
地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	穎娃おこそ会
役職	
氏名	佐藤利江子
着任日	令和5年6月1日

活動月	令和5年9月（着任4ヶ月）
主な活動	1.石垣元空き家改修 2.地元工務店にて実務研修

1.石垣元空き家改修

穎娃町の石垣にて元空き家の改修作業を行いました。今回は東京から大学生と引率の先生の計7名と、その他に助っ人が何名も入れ代わり立ち代わり入ると言ったにぎやかな現場でした。学生達は来た当初は不慣れな田舎と空き家の環境に疲弊気味でしたが、慣れてくるとコツコツ作業を進めており、頼もしい限りでした。学生を交えての空き家の改修はスキルの習得というよりは、空き家改修の体験を通じた人と人との交流の場のように感じます。私自身も今回の改修を通して学生や来てくださった地域の方々と交流できてよい機会となりました。会議や食事の場だけではできない、「何かを一緒にやり遂げる」といったことが連帯感をもたらし、人との距離感が近くなるように感じます。交流の輪が広がり、空き家の利用が促進されるような良い流れをもっと作っていかれたらと思います。



2. 地元工務店にて実務研修

大工スキルを身に着ける一環として、椅子製作をさせていただきました。一つは工務店さんがすでにカットしてくれた部材を組み立てる作業のみの椅子。これは工務店さんが一般の方でも簡単に製作できるようにと作ったものの、これまで試したところ「みんなが難しいと言う」と言っていたもの。やることはビス止めと、ほぞ穴掘り。ほぞはきれいに掘るのがなかなか難しく、ビスも適切なサイズのものがなかったのが苦戦しました。最後に塗装をしてなんとか完成しました。確かに難しく、重量もあり、しっかりと座る椅子と言う感じだったので、もう少し軽い椅子を簡単に作れないかと考えて、工務店にある廃材を使い小さな椅子を製作しました。自分でやってみると簡単にかつ頑丈に作るのはなかなか難しいことが分かりました。また、工務店の方に部材の取り方や、組み立て方を教えていただき、改めて木の面白さを知りました。今後の空き家改修の場で生かせるようにもっと学んでいきたいと思えます。また、廃材を利用した木製品作り等、廃材の活用方法も検討していきたいです。

